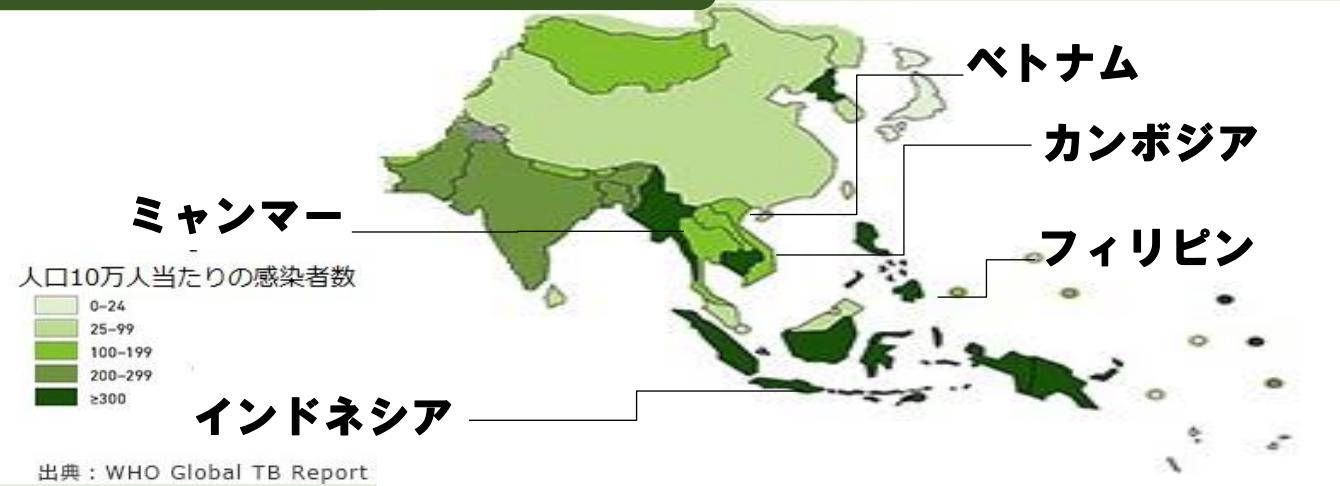


知ってほしい結核のこと

☆母国を離れ、言語や生活環境が異なるためストレスを感じることもあると思います。ストレスをためると免疫力の低下につながります。免疫力が低下することで結核の発病リスクが高くなります。無理をせず、体調不良を感じた時には監理団体や研修センターの職員へ気軽に相談しましょう。

外国生まれの結核患者の状況



✓ アジアに多い

東南アジアは結核患者数が
人口10万に当たり100~300人の高蔓延国です。

✓ 若者に多い

外国人新規結核登録患者のうち、
約50%が20~29歳であり、若い年代に多い！

✓ 入国後数年以内の発症が多い

20代以下の若年層では、
半数以上が入国後5年以内に発病しています！

→ 入国後は定期的に健康診断を受けましょう！
早期発見・早期治療を行うことで、日本で仕事を続けることができます。

☆早期発見・早期受診が重要です。

☆周囲の人に感染を広げる可能性がない場合には、内服しながら仕事や学校に行くことができます！

☆結核と診断されたときは保健所もサポートします！

結核とは…

感染

結核菌が肺に入り込み、
身体の中にすみつくこと。
ほかの人へ移さない状態

【主な症状】



咳・痰

微熱

倦怠感

発病

結核菌により
肺に異常が生じている
または症状が出現している状態
適切な服薬で治る



【その他の症状】近頃、寝汗をかいている、体重が減ってきた等

◎上記のように初期症状はかぜと似ており、症状が長く続くのが特徴です。

このような症状が**2週間**以上続いた場合には、所属団体等へ相談しましょう。

治療について

結核は薬を飲めば治る病気です！

◎結核を発病していると診断されたら、複数の薬を**6~9**ヶ月間、毎日内服します。

※病状や経過によって長くなることもあります

◎治療終了まで薬を毎日飲み続けることが大切です。

制度について

◎結核の治療費用については、感染症法により国・自治体からの治療費補助があります。

◎日本語での説明が難しいとき等、必要時通訳を導入することができます。

予防について

(1)適度な運動 (2)十分な睡眠 (3)バランスの良い食事 (4)タバコを吸わない
(5)職場の健康診断(胸部X線検査を含む)を受けましょう。

